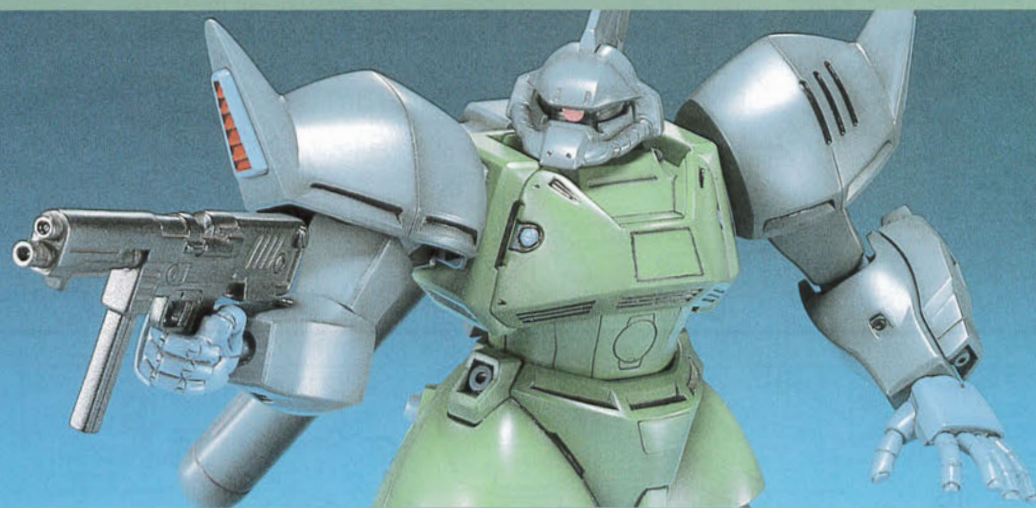


MMP-80 90mmマシンガン



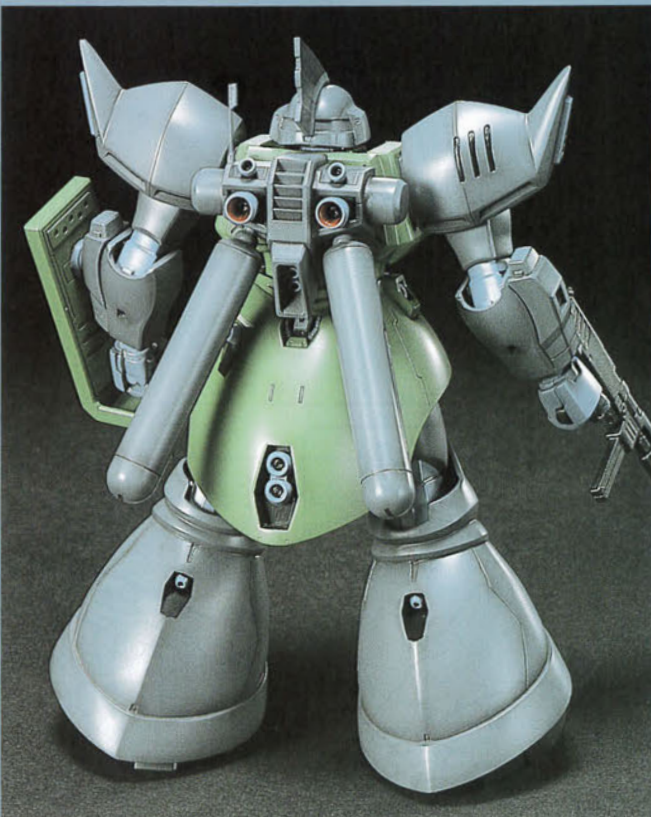
アクションポーズ



ビーム・サーベル



リアビュー



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

- 本体等：
 - イエローグリーン (100%)
 - +RLMグレー-02 (少量)
 - ※または、ガンダムカラーグリーン8
- 関節等：
 - ミディアムブルー (60%)
 - +ホワイト (40%)
 - +レッド (少量)
 - ※または、ガンダムカラーグレー9
- 頭部、腕部、脚部等：
 - ニュートラルグレー (70%)
 - +ミッドナイトブルー (30%)
 - +インディブルー (少量)
 - +モンザレッド (少量)
 - ※または、ガンダムカラーグレー16
- 90mmマシンガン：
 - ミディアムブルー (60%)
 - +ニュートラルグレー (30%)
 - +レッド (10%)
- 足、ヒザ等：
 - ミッドナイトブルー (70%)
 - +ニュートラルグレー (15%)
 - +ブルー (15%)

MS-14F 'GELGOOG MARINE'

PRINCIPALITY OF ZEON MASS PRODUCTIVE VALIANT TYPE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MS-14F
 TOTAL HEIGHT : 20.2m
 WEIGHT : 45.1t
 TOTAL WEIGHT : 81.3t
 GENERATOR OUTPUT : 1440kw
 THRUSTER
 GENERAL OUTPUT : 55000kg
 SENSOR
 EFFECTIVE RADIUS : 6300m
 MATERIAL :
 SUPER HARD STEEL ALLOY
 ARMAMENTS :
 110mm RAPID-FIRE GUN
 BEAM SABER
 MMP-80 90mm MACHINE GUN



1/144 SCALE
HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。



MS-14F "GELGOOG MARINE"

「ゲルググマリネ」は、一年戦争末期に実施された統合整備計画以前に、前線における特殊任務が多い海兵隊上陸戦闘部隊仕様として、ア・バオア・クーの工廠で短期間生産された機体である。投入が想定される任務の特殊性から、装甲厚や形状が独特で、他のゲルググ系の機体と比較してグラマラスなシルエットを持つ。これはバーニアやラジエーション、タンクなどのユニットが大型化したためと、装甲などにスペースドアーマー構造を多用しているためである。重量出力比や機動性、運動性などは、むしろ後のJG型に匹敵するレベルのスペックを達成しており、量産タイプのF型と指揮官用のFs型を含むF系の機体は、JG型への過渡的なコンセプトを持っているとされている。ただし、生産ラインの確立や実戦投入に際して

の時期的な問題から、一年戦争に参戦した機体は決して多くはなく、U.C.0083年に「星の肩作戦」を遂行したデラズ・フリート所属のシーマ艦隊によってもっとも多く運用された。艦隊旗艦のザンジバル級リリー・マルレーンに6機、ムサイ級7隻に合計で約30機程度が配備されていたと言われ、シーマ機のみ指揮官仕様のFs型であった。ほとんどの機体は、ビーム・ライフルではなくマシンガンを標準装備としていたが、これはシーマ艦隊のみならず、デラズ・フリート全体の台所事情によるものであったとされる。この機体の生産と配備に関しては、公国軍の一部上層部による思惑が複雑に錯綜していると言われ、シーマの個人的なコネクションによって変則的で特例的な調達が可能となったという説もあるが定かではない。

ゲルググマリネ

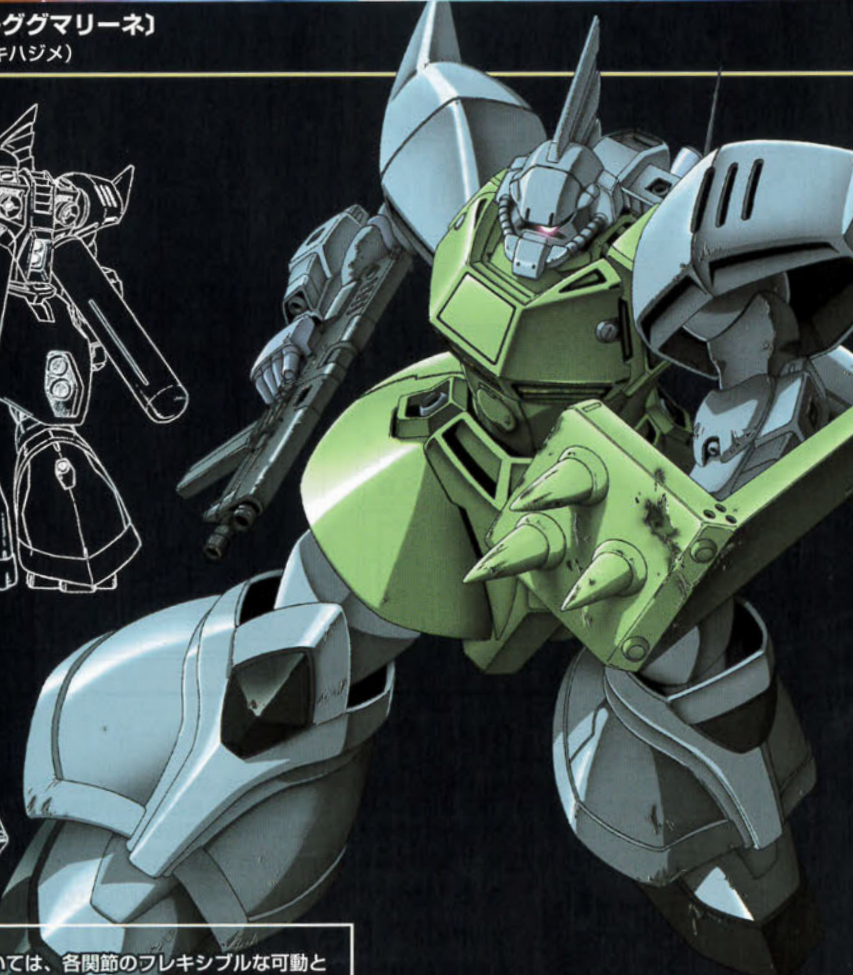
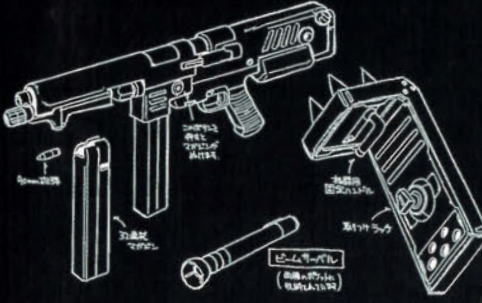
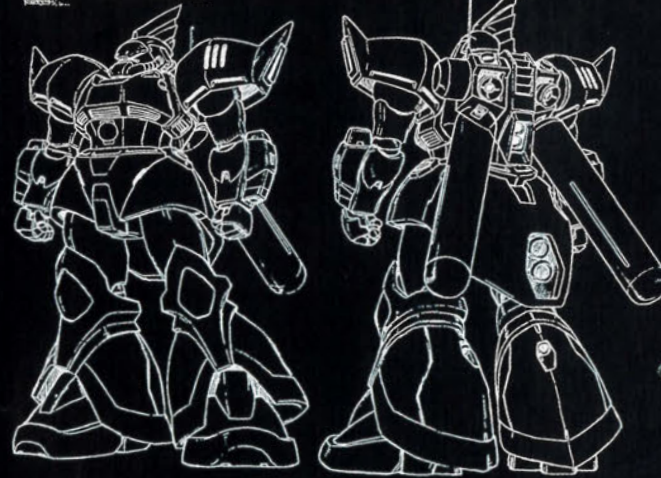
U.C.0083年10月25日、デラズ・フリートが展開中の「星の肩作戦」の助っ人としてシーマ艦隊が係留基地「茨の園」に入港してきた。「ソロモンの悪夢」の異名を持つエースパイロット、アナベル・ガトーは、デラズによる公国軍残党の糾合にも即座には応じなかったならず者の集団であるシーマ艦隊の協力の申し出に、その真意を疑うが、シーマの実力を高く買うデラズの説得には応じるしかなかった。同年10月31日、シーマはデラズに対して実績を示すため、旗艦のリリー・マルレーン単艦でアルビオン隊に襲いかかる。旧公国軍屈指の高性能機であるゲルググの大軍に、アルビオンのMS部隊は思わぬ苦戦を強いられながらも抗戦を続ける。そして……。

(撮影協力：ホビージャパン)



MS-14F GELGOOG MARINE (ゲルググマリネ) デザインワークス (コンセプトデザイン：カトキハジメ)

MS-14F GELGOOG MARINE



「ゲルググマリネ」のリニューアルデザインにおいては、各関節のフレキシブルな可動と機体各部に装備されたバーニア等のディテールの再現に加え、ゲルググ系の中でも特にグラマラスなプロポーションを再現することが重点的なポイントと言える。

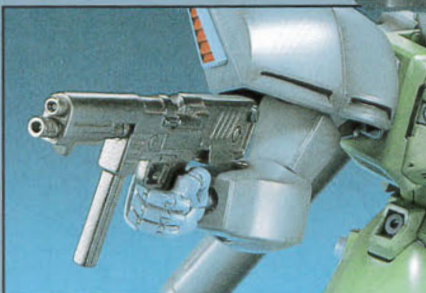
Illustration work
Drawn by MASANORI SHINO
CG Work by TAKAYUKI FURUKAWA



ランドセル
A型、S型などと異なり、ほぼ空間戦闘用に特化された機体であるため、ランドセルの形状が大きく異なる。また、稼働時間および航続距離延長のため、大型のプロペラントタンクを装備する。

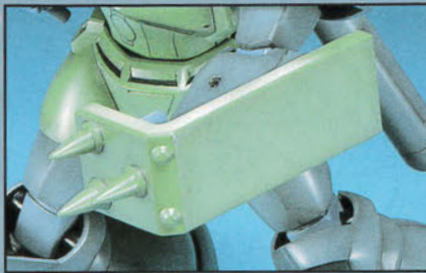
110mm速射砲
A型などには補助機動装備などがマウントされていることが多かったが、F系の機体の腕部には大口徑のマシンガンが装備されている。

SPEC
型式番号：MS-14F
全高：20.2m
本体重量：45.1t
全備重量：81.3t
ジェネレーター出力：1440kw
スラスター総推力：55000kg
センサー有効半径：6300m
装甲材質：超硬スチール合金
武装：110mm速射砲
ビーム・サーベル
MMP-80 90mmマシンガン



▲MMP-80 90mmマシンガン 公国軍の一般的なMS用火器。グレネードランチャーを装備可能な後期型も存在する。

▼ビーム・サーベル A型やS型が装備するツインエミッター仕様の「ナギナタ」タイプではないが、ユニットそのものには同系統のデバイスが使用されている。



▲スパイクシールド ザクのショルダーシールドに手持ち用のマウントラッチとハンドルを増設し、スパイクを装備して防衛にも攻撃にも使えるようにした攻防一体の装備。

コクピットハッチ



頭部ユニット
基本構造は他のゲルググとほぼ同じだが、後頭部の放熱フィンが大型化され、側頭部にオプション武装の取り付けが可能な構造となっている。

MMP-80 90mmマシンガン

警告 (けいこ)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。

●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

・接着をするところの線	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取るところ	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

パーツリスト

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

Bパーツ (スチロール樹脂: PS)

Cパーツ (スチロール樹脂: PS)

Dパーツ (2枚) (スチロール樹脂: PS)

《P.C-123プラス》 (ポリエチレン: PE)

●シール……………1

1

2

3

4

5

6

7

8

